

144. 正しく歌わせるには

【問い】 小学校2年の男児ですが、他の子よりも低音で一本調子に歌います。音痴ではないかと心配です。正しく歌わせるにはどうしたら良いか、良い方法を教えてください。

【答え】 正しく歌えないのは、次のような肉体的条件や精神的な場合がほとんどですから、治るといわれています。

児童の大多数は高い声の方が出やすいのですが、まれに低音域が出やすかったり、他の子よりも声の出る幅が狭い子がおり、それらの児童は、音を正しく聞きとっても、自分に出せない高さだと思うと、都合の良い高さに変えて歌ってしまいます。これらの児童には、音域を広げるためにも、家庭音楽会などを催して積極的に歌える場を与え、家族全員で応援するのも効果的です。その際「正しく歌え」などといってこわがらせたり、迷惑そうな態度は慎んで、コンプレックスをいだかせぬよう、注意したいものです。

また、せっかちな性格で、音をよく聞かない児童にも、音をはずす場合が多いようです。その場合にも、次のような方法をとると効果的です。

①お互いの口が見えるように向かい合い、お子さんの一番好きな歌を、歌いやすい高さで一緒に歌います。

②はじめにお母さんが短い部分を区切って歌ってあげます。そのとき、じっくりと聞きとらせ、お母さんと同じ高さが出せるよう、くり返し歌わせませす。正しく歌えなくても絶対にしからず、根気よくくり返しましょう。

③上手に歌えたらほめましょう。そして次の区切りの良いところまで進みます。

④少し上手になったら、お子さんの好みよりもやや高い音域で歌い、声の幅を徐々に広げさせていきます。練習時間は5、6分で結構です。めんどうがらずに、愛情こめてお相手をしてあげてください。